合同墓の整備の実現に向けた現段階の町長の考えは

（動画時間）
35分



桜木（さくらぎ）　誠（まこと）　議員

町長：様々な課題をクリアして総合的な観点で検討し、早期に整備を進めたい

その他の質問事項　▶下川中学校における制服の在り方について

質問　合同墓の整備に関する質問については、令和７年９月定例会議で行っており、その際町長からは「町民などから是非造ってほしいという声をいただいており、近隣自治体などの事例を参考に調査・研究を行い、下川町の実情に即した形で実現に向けて前向きに検討していきたい」との答弁がありました。その後の検討状況や現段階における合同墓の必要性や合同墓に対する想いなどについて説明を求めます。

町長　町民や町に住んでいた方のご遺族などからも合同墓設置の要望があり、近隣自治体の整備状況を現地視察するなど情報収集を行いました。また、町内寺院における納骨堂の利用状況などの変化について関係者の意見も聞きました。

今後については、地域の実情に即した合同墓の設置に向けて、場所や規模、受入れ対象の範囲、管理運営方法など具体的な内容の整理を行います。また、現在の社会情勢を考えると親族などによるお墓の維持管理や承継は難しいと感じていることから、できるだけ早期に整備を進めて行きたいと考えています。

早期に介護職員の充足を図るべきである

（動画時間）
58分



斉藤（さいとう）　好信（よしのぶ）　議員

町長：新たな人材の確保と既存職員の離職防止を両輪として努めていく

その他の質問事項　▶下川町公の施設の設置及び管理について
▶消防団活動維持及び処遇改善について

質問　介護職員不足での労働環境は、職員に過重な負担を生じていることから、労働環境改善のため、介護職員の処遇改善を考える必要があります。職員の労働負担軽減には、人材確保が最重要であり、人材確保に向けて町が一丸となって更なる手を打つべきと考えます。この点について、答弁を求めます。

町長　福祉関係学校との連携強化に加え、しもかわ財団を通じた雇用マッチング、離職者の再雇用、介護補助を担う短時間勤務者の更なる活用など、多様な人材確保策を検討し、進めてまいります。また、既存職員の離職防止のため、処遇改善制度の活用やＩＣＴ・介護機器の導入、業務及び勤務体制の見直しを進め、働き続けられる環境づくりに努めてまいります。

再質問　今年度、特定技能一号の在留資格を持つ外国人を雇用予定ですが、支援体制はどう考えますか。

町長　登録支援機関と日本語教育や生活支援などの役割分担を調整するとともに、住環境の整備など外国人材が安心して働き生活できる体制を整えてまいります。